

1 事業名

平成26年度教育事業「体験活動支援セミナー」
 ～ ドキドキ わくわく ボランティア 冬 ～

2 趣旨（事業の目的）

自然体験活動を支援する立場として、学校外における体験活動を主体的に運営や補助を行う上で、必要な知識や技能を学ぶ機会とする。また、修得した知識・技能を活かす場として、実際に小学生を対象とした事業を自主的に進められるようにする。

3 期日

平成27年2月7日（土）～8日（日）

4 参加者 26名

（高校生5名，大学生21名）

5 連携・協力 岩手県教育委員会，盛岡市教育委員会，滝沢市教育委員会，盛岡大学
 ユーレストジャパン（株）岩手店

6 内容

(1) 日程

日時	9:20 9:40 10:00		10:50		11:45 13:00 13:30 13:50		16:30 17:30 18:30		20:00 21:00 21:30		22:30					
8日 (土)	受付	開会 行事	講義 「事業運営及び 活動支援につ いての心構え」	活 動 内 容 に つ い て の 打 合 せ	昼 食	小 学 生 受 付	は じ め の 会	活動1 みんなで 楽しもう！ ～雪上活動～	自 由 時 間	夕 食	活動2 みんなで 見上げよう ～星空観察～	入 浴	就 寝 指 導	ミー ティ ング	就 寝 準 備	就 寝
日時	6:30 7:00 7:20		8:45 9:30		11:45 12:30		13:00 13:15 13:30		14:30 14:45		太枠で囲まれている部分 は小学生への支援プログ ラムです。					
9日 (日)	起 床	洗 面 ・ 清 掃	つ ど い	朝 食 ・ 休 憩	退 所 点 検	活動3 みんなで 楽しもう ～雪上スポーツ 大会～	昼 食	ア ン ケ ー ト 記 入	お わ り の 会	小 学 生 解 散						

(2)・指導者

国立岩手山青少年交流の家	企画指導専門職	中田 春輝
	企画指導専門職	高橋 省一
	事業推進係	及川 未希生
	法人ボランティア	21名

(3) 企画のポイント

参加者には、活動を支援する立場として学校外における体験活動を主体的に企画運営を行うための心構えや知識・技能を習得する講義・演習の時間を設定した。習得した知識・技能を生かす場として、実際に小学生を対象とした事業にグループリーダーとして主体的に関わらせ、小学生の野外活動の補助や安全管理などの経験が十分に得られるように企画した。

(4) 広報のポイント

年度当初から、当施設ホームページに事業日程を掲載した。開催要項に関しては、

チラシとともに岩手県内の大学・短期大学，高等学校，報道機関に送付した。事業直前に再度，報道機関に周知した。

(5) 運営のポイント

ボランティアが役割毎にワーキンググループに所属し（別紙），LINE や Skype，大学でのランチミーティングを利用して話し合いプログラムの細案を作成した。各チームにアドバイザーミーティングのメンバーが1人以上所属し，LINE グループで質疑応答を受け付けた。細案は，職員がフォーマットを作成し，沿う形で提出を求めた。期日を決めて中間報告をする機会を作った。細案提出後，職員が生活・活動班に所属するセミナー参加者を含めた階層型組織キャンプの素案を構築し，明確な役割分担を行った。

体験活動支援セミナーの参加者及び法人ボランティアは，それぞれ別時刻にスタッフミーティングを行い，子どもの宿泊室から大人が離れることがないようにし安全面に配慮した。

7 成果とその普及

体験活動支援セミナーの参加者は，初日の姿勢から小学生と関わりたいと思う意識の高さが伺えた。参加者は，グループリーダーとして，子どもたちと深く関わり，子どもたちと真剣に向き合う中で，子どもたちへの接し方やコミュニケーションの取り方など，多くのことを学ぶことができ，事業の目的どおりの成長が見られた2日間であった。アンケートの結果も大変高い満足度であった。

事業の振り返りのワークシートには，子どもたちの様子や関わり方を見つめた記録が残っており，それをもとに振り返りを行うことで，セミナー参加者自身に自分の変容を認識させることができた。この結果をふまえて，体験活動のボランティア育成の手法について広く県内の施設に普及していきたい。

8 今後の課題

夏のセミナー参加者が，活動に興味を持ち，今度は運営側のスタッフとして参加した。今回のセミナーのアンケートの結果からも活動に興味を持ってくれた参加者が多いことがわかる。さらに充実した活動を展開していくことで，継続的なボランティア育成につながっていくと考える。

また，大学生参加者の多くが盛岡大学の社会教育実習生となっている。他の近隣大学にも単位認定の協定を結び，普及していく必要がある。



「事業運営及び活動支援」
の講義



子どもたちとの出会い



雪上活動「そり滑り」